# 優

# ぬけがらと鳴き声から分かるセミの生態

人吉市立人吉東小学校 5年 梅本 悠汰

# 研究の目的

■ ファンファンコート マーラになると、いろいろな行うない。 する すますますといろいろな行動の鳴き声を聞くことができる。 そこで、 昨年度は、七ミの帰き声に看目して、 セミの活動と天気や気温、 1日の時間帯の関係について調べた。 その結果、 展間の晴れた日や先温の高い時によく鳴くことが分かった。 しかし、調査対象が 日とし、このが新くたまで変越、「日の間内での同様には、 はとんどアプラビミだったので、他のセミについても調べたいと考えた。 今日の研究では、重休みの期間でのセミの活動の様子を調べることを目的とした。一般的には、セミを接集して、種類を調べるけんども、構出網でセミをつかまえ

ようとして、近げてしまうことがある。そこで、七ミ自体を採集しなくても調査できる方法として、七ミのぬけがらを採集する方法と、鳴き声を観音する方法を活用 して、研究を進めることにした。

せきのぬけがらを採集する方法では、人声にいるせきの種類とその割合、せきが羽化する時期について調べることにした。また、鳴き声を録者する方法では、せき の鳴き声からせきの種類について词べることにした。

# 研究の方法

- (1) セミのぬけがらの採集
- ア せきのぬけがらを採集するホイントを決定
- ○昨年の研究お果から人吉城新州辺でセミのぬけがらが多く採集できるポイント(図1)を決めた イ ぬけがらも採集

- ・ 今和4年7月24日から「週間毎に各ポイントの木などについているぬけがらを採集する。 ・ を乗する時、採集期日、採集ポイント、地面からぬけがらまての高さを記録する。 ・ 「週間のセミの羽れ数を調べるために、7月4日にそれまで各ポイントについているぬけからは
- 全て採集する。
- ウ ぬけがらからセミの程準を分離 ・分類表(NHKラチズンラボ ぬけ 熨見分け方)を使って、セミの種類を調べる。
- (2) セミの鳴き声を録音 ア 鳴き声を録音するポイントを決定
  - 。地域に右違いを調べるために、市街地(人吉市麓町)と山間部(城寨村一勝地)で鳴き声を鉄者する。(回2)
- イ 分割す法 ・パソコンに割職ソフト (ライブキャプチャー3) を活用し、1 時間毎5分間、セミの鳴き声を録す
- (3) 調査期間の天気、気温を記録
- (4) 調査結果の分析視点
- 採集したセミのぬけがらから人言市にいるセミの種類の分布を調べる。
- ・ イボイントをのぬけがらめると現代時期の関係 ・ 「週間で羽化したセミの数と羽代した場所の関係を調べる。 ・ セミが羽化したマシリ場所をボイントの違いから考える。
- ウ セミの種類毎の羽化の時期
- セミのぬけがらの数を時期毎に整理し、種類等の羽化の時期を調べる。
- エ 地域毎のセミの移類
- 録音したセミの鳴き声からその地域にいるセミの種類を調べる。
- オ セミの活動と気温の開係 ・よく鳴いているセミとその時の気温の開係からセミが活動する気温を考え

## 研究の結果



(3)	セミの種類と羽化の時期の関係
-	1.00

アブラゼミ	X-X X-76		1/1~%	1/1~1/3	8/4~%	8/1~8/6	合計
	42	21	36	[3	1 4	2	118
クマゼミ	5	] 3	] 6	1	0	0	15
ヒグラシ	0	1	0	1	0	0	2
=1=123	0	0	0	2	0	0	2
合計	47	25	42	17	4	2	13"

	(人吉市麓	.,		明洁多	の鳴き神少	ーなし
	17/24 TO	1/8	8/2	8/3	8/19	8/200
アブラゼミ	000	000	000	00-	-00	- 00
クマゼミ					- • -	
ヒグラシ						
1-1-1-1						
シミンゼミ						
クソクボウシ						

Sant Pil	7/24	7/22	7/23	8/19	8/23	9/3
アブラゼミ	000	000	-00	-00		
クマゼミ			00-		0	
ヒグラシ		•				
ニイニイゼミ						
ミンシンゼミ				000	00-	
ソクソクボウシ					-	- 0.0

## 111 +2016 15 18

20		252	308	35%	400
アプラゼミ	E Pare	A STATE OF THE PERSON NAMED IN	The second	THE REAL PROPERTY.	
クマゼミ	-	Service Control			
ヒグラシ		3000	0.00		100
ニューイゼミ			400		
シミンゼミ					
ファファカボウシ	Work!		- Day		

# 4 研究のまとめ

- 排集した全てのあけがらを分類した結果、市街地(人吉市最町) では、ほとんどがアプラゼミ (864%)であった。
- 持張した全ての点けがらを分類した結果、本街地(人吉市夏町) では、ほとおどがアファゼミ(864%)であった。
  くさらの羽化の場所と時期の関係シ
   せらの羽代する場所は、ボイント2 (広場東伊護駅沿い) が最も多く、次にポイント (水辺の夏田)であった。 どろらもほとんどがアブラゼミであった。
   2つのポイントでは、セミの羽代する時期に違いかあり、それぞれの期間の平均気温との関係も調べたが関係性をみつけることはできなかった。
  くできの経済と羽化の時期の関係シ

- ( せきの種類と羽代の酵類の関係>
   せきの種類をいねての酵類の関係>
   せきの種類をいねての酵類をみると、アプラゼミとりでせきは、調金期間の前半(%・%)は羽化する数が多く、その種は、減少してい、た。
   ヒグラシとニイニイゼミは、個体験が立いのでは、きりした材向は言えないけれど、せきの鳴き声を録音したものでは、調金期間の種手(%・%)にヒグラシの鳴き声が存録されていることから、調金期間の種半(羽化する数が増加するのではないかと考えられる。
  〈 は、きりした傾向を調べるためには、も、と早い時期から調金することと、調金ポイントを増やす返費がある。
  ◇ 地域等のセミの種類>
- 〈地域局のセミの種類〉
   市前地は、ほと人とがアプラゼミで、クマゼミやセグラシ、ツクツクボウシが少数いることが分かった。これは、高けがらからの調査と近いものであった。
   山間ボーは、アプラゼミをはじめとじて、クマゼミ、ヒグラシ、ニイニイゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウンといった数与くの種類のセミの鳴き声を聞くことがてきた。調査地点には、多様な木々があり、いろいろな種類のセミが生息できるのではないかと考えた。
  △ 幽けからを練集するボイント を 市街地にけてなく 山間部にも増やすことができれば、鳴き声のデータと組み合わせて、セミの種類や数をくわしく調査できるショニ

- と思う。 くせきの対称と保護) ブブラゼミキョンミンゼミは、中点い保護で活命をしているが、他のセミは、活動する温度の範囲がせまいことが全かった。 △ ツクツクボウンは、夕方によく鳴くので、矢温に関係するよりも、時間帯や明るさが。 するのではないかと考えた。次回は、もっと時間帯や明るさに ことあ では研究を進わていきたいと思った。